

目次

- 【I】2020年3月期(2019年度)決算
 - 1.決算概要(連結)
 - 2.中期経営計画(2017~2019年度)総括

【II】新中期経営計画『SNK Vision 2030 Phase I』 (2020~2022年度)

[I]2020年3月期(2019年度) 決算 1. 決算概要(連結)

2020年3月期(2019年度) 決算実績

【受注工事高】大型案件の期ズレや計画延期

【完成工事高】 国内・海外における大型工事が進捗し計画値を達成

【損 益】グループ全体での利益創出の取り組みが成果をあげ、設立以来の最高益

(百万円)

科目	2018年度 実績	2019年度 計画値	2019年度 実績	(計画値比率)
受注工事高	120,530	115,000	107,304	(△6.7%)
完成工事高	122,389	115,000	120,106	(+4.4%)
営業利益	3,885	5,000	6,409	(+28.2%)
経常利益	4,235	5,200	6,810	(+31.0%)
当期純利益(※)	3,095	3,700	4,603	(+24.4%)
繰越工事高	85,204	85,204	72,403	(△15.0 %)

【 I 】2020年3月期(2019年度) 決算

1. 決算概要(連結)

貸借対照表

主な増減内訳

【資 産】大型案件が順調に進捗、工事代金入金により、現預金増加(43億7百万円)、 受取手形・完成工事未収入金等の減少(41億7千1百万円)、投資有価証券の含み益減少 (28億1千9百万円)

【負 債】キャッシュ・フロー改善により短期借入金の減少(53億4千4百万円)

【純資産】 利益剰余金の増加(18億5千4百万円)、その他有価証券評価差額金の減少(16億1千万円)、自己株式の消却等による増加(11億4千4百万円) (百万円)

資産の部	2019年 3月末	2020年 3月末	増 減	
現金預金	8,179	12,487	4,307	
受取手形· 完成工事未収入金等	63,800	59,629	△4,171	
その他	2,684	2,364	△320	
流動資産 計	74,665	74,480	△184	
固定資産	27,360	24,445	△2,915	
(投資有価証券)	(21,518)	(18,698)	(∆2,819)	
資産 合計	102,025	98,925	△3,100	

負債・純資産の部	2019年 3月末	2020年 3月末	増 減
支払手形・工事未払金	35,986	35,261	△724
短期借入金	12,652	7,308	△5,344
その他	7,547	10,085	2,537
流動負債 計	56,187	52,655	△3,531
固定負債	2,774	1,867	△906
負債 合計	58,961	54,523	△4,438
純資産	43,064	44,402	1,338
負債・純資産 合計	102,025	98,925	△3,100

【 I 】2020年3月期(2019年度) 決算 1. 決算概要(連結)

キャッシュ・フロー

主な内訳

【営業活動C/F】 税金等調整前当期純利益(68億7千1百万円)、

売上債権の回収による改善(39億4千1百万円)

【投資活動C/F】 投資有価証券の売却による収入(4億4千7百万円)、

無形固定資産の取得による支出(2億2千8百万円)

【財務活動C/F】 短期借入金純減額(55億8千7百万円)、配当金の支払額(12億8千5百万円)

(百万円)

科目	2018年度 通期	2019年度 通期	増 減
営業活動によるC/F	△1,282	11,165	12,447
投資活動によるC/F	334	182	△151
財務活動によるC/F	△350	△6,993	△6,642
現金及び現金同等物の増減額	△1,440	4,307	5,747
現金及び現金同等物の期末残高	8,102	12,410	4,307

©SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO.,LTD. all rights reserved.

[I]2020年3月期(2019年度) 決算 1. 決算概要(連結)

受注工事高(分野別)

【国内一般】大型案件の期ズレや計画延期

【原子力】新規制基準対応工事、緊急対策施設工事が寄与

【関係会社 国内】 垂直・水平ワンストップの進展

【関係会社海外】 データセンター、日系産業案件が好調

(百万円)

分野別 受注工事高		引 受注工事高 2019年度 計画値		2019年度 実績	(計画値比率)
		•新築	34,000	26,296	(△22.7 %)
個別	国内一般	・リニューアル	54,500	49,503	(△9.2%)
	原子力		8,500	9,041	(+6.4%)
個別 受注工事高			97,000	84,842	(△12.5 %)
関係 国内		8,000	9,053	(+13.2%)	
会社海外			10,000	13,409	(+34.1%)
:	連結 受注工事高			107,304	(△6.7 %)

【I】2020年3月期(2019年度) 決算

1. 決算概要(連結)

完成工事高(分野別)

【国内一般】大型再開発案件、更新・改修工事が順調に推移

【原子力】新規制基準対応工事、緊急対策施設工事が寄与

【関係会社 国内】 垂直・水平ワンストップの進展

【関係会社 海外】 データセンター、日系産業案件が好調

(百万円)

分野別 完成工事高			2019年度 計画値	2019年度 実績	(計画値比率)
	国由	•新築	37,000	36,933	(△0.2 %)
個別	国内一般	・リニューアル	52,000	54,200	(+4.2 %)
	原子力		8,000	8,509	(+6.4%)
個別 完成工事高			97,000	99,643	(+2.7%)
関係	関係 国内			9,355	(+10.1%)
会社海外			9,500	11,107	(+16.9%)
	連結 完成工事高			120,106	(+4.4%)

[I]2020年3月期(2019年度) 決算 2. 中期経営計画(2017~2019年度)総括

経営課題

1. 顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進

グループ企業との協働による垂直・水平方向のワンストップ強化が進捗。

海外現法とのネットワーク機能の強化と国内外ワンストップソリューションのシームレスな展開が進捗。

顧客ニーズの具現化に向けた体制構築と技術開発の推進。

- ・原子力発電所において使用する「全面マスク」を介してのウイルス感染予防対策として、 「電解水を用いたマスク洗浄システム」の開発 <u>⇒詳細はこちら</u>
- ・医療、医薬にも貢献が期待される、見えない微細な浮遊粒子の可視化が可能な「微粒子可視化技術 ViEST」の新商品ラインナップ ⇒詳細はこちら

[I]2020年3月期(2019年度) 決算 2. 中期経営計画(2017~2019年度)総括

経営課題

2. 安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と情報技術の融合

施工生産性向上を目指した省力化技術の開発。

- ・東日本大震災以降、建築設備の耐震対策に対する需要の高まりから、地震時に機器の吊りボルトが破断した際に、確実な落下防止が行える、天吊り設備機器の落下防止工法「O-T-9」の実用化。 <u>⇒詳細はこちら</u>
- ・作業域の温度環境改善と省エネルギーを両立する空調システムとして、工場などの大空間向 けタスクゾーン省エネ空調「AiR-Lo³(エアロスリー)™」を新たに開発しました。 <u>⇒詳細はこちら</u>
- 3. 透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化

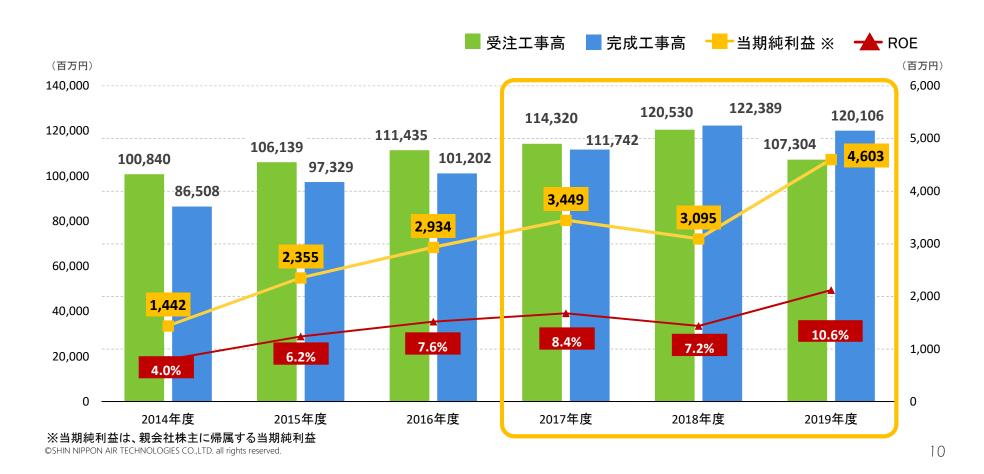
企業統治体制の確立とCSR活動の強化推進。

-「当社グループのマテリアリティ」策定など、ESG経営への取り組みが進展。

[I]2020年3月期(2019年度) 決算 2. 中期経営計画(2017~2019年度)総括

2014年度からの業績推移

収益性や生産性向上に努めた結果、最終年度に設立以来最高益を計上。



[I]2020年3月期(2019年度) 決算 2. 中期経営計画(2017~2019年度)総括

2014年度からの配当実績

総還元性向50%を指標、配当性向を30%以上とし安定的な配当を実施。

	株主還元(実績)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	3ヶ年 合計
	年間配当金(円)	25円	25円	40円	45円	50円	70円	165円
	配当金総額(百万円)	631	612	980	1,097	1,173	1,628	3,899
	連結配当性向	43.7%	26.2%	33.4%	32.0%	38.4%	35.5%	35.3%
	総還元性向			38.5%	95.1%	44.1%	56.5%	
DOE(※) ©SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO.,LTD. all rights reserved. ※DOE(株主資本配当率)				3.3%	3.4%	4.5%	3.7%	

1 1

10年ビジョン『SNK Vision 2030』 策定 ⇒詳細はこちら

基本方針

新日本空調グループは、持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向け、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指します。

2030年における

人的資本 多彩な能力の融合による 人材価値の最大化

・働く組織・場所・時間や個人の年齢・ 国籍・性別などに縛られず、職務内容に 準じた待遇と自律的かつ多彩な 人材が精彩を放つエンジニア集団

組織資本 情報利用の高度化と 組織機動力の向上

・最新のナレッジを仲間と簡単にシェアし合うことができ、場所や時間に関わらず安定的かつ、高効率に利益を生み出すスマートなプラットフォーム

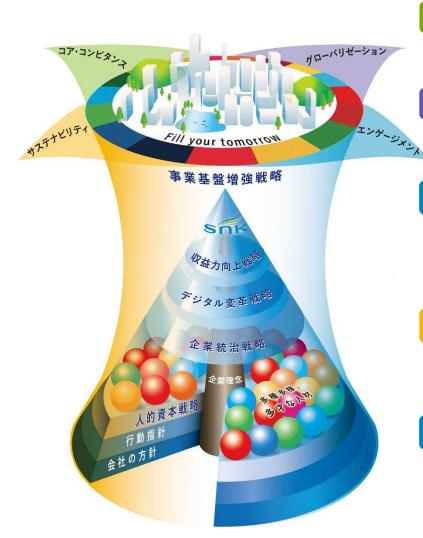
関係資本 お客様と共栄できる 関係の創造

ステークホルダーとの関係強化や パートナーシップの拡大により、競争と 協業の中で新たな価値を創造し続ける ビジネスネットワーク

グループのあり姿 サスティナビリティ ステークホルダーと共に 社会課題解決へ貢献

・事業を取り巻くマクロ・ミクロ環境のトレンドを 捉え、経営基盤の強化とESGへの取組みを 深化させ、継続的な社会的評価の獲得と 持続的な地球環境への貢献

10年ビジョン【SNK Vision 2030】



事業基盤増強戦略

資本コストを意識した事業ポートフォリオの実現と新たな事業領域の 展開による収益基盤の拡大。

収益力向上戦略

事業収益力の向上と施工遂行力の持続的成長を実現する現場機動力の増強に資する安全品質管理体制の強化と生産性向上を目指す。

デジタル変革戦略

デジタル変革社会に則した高度情報活用の推進と業務機動性の更なる向上を目指すために、デジタルによる情報活用を推進し、情報通信技術の高度化による当社独自のICTプラットフォームを構築し、存在価値を高める。

企業統治戦略

持続的地球環境の実現とステークホルダーの長期的価値向上を見据えた CSR・ESG経営の浸透展開と、それを支えるコーポレート・ガバナンス 体制の強化。

人的資本戦略

多種多様、多才な人材を有し、様々な専門領域にて、自己のキャリア プランと会社のキャリアパスが有機的に結びつく人的資本の育成と、 働き方改革を実現する現場や事業基盤増強戦略に基づく事業分野への 人材の傾斜配分。

【SNK Vision 2030 Phase I 】

人的資本戦略









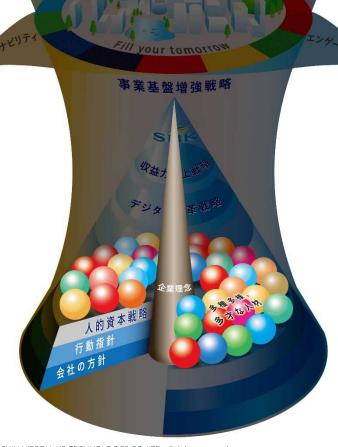


1

多種多様、多才な人材の発掘、育成、 活用に資する人事制度改革の推進。

2

ゆとりのある労働環境の実現に向けた ワークライフスタイルの変革と現場人材 の増強。



[SNK Vision 2030 Phase I]



your tomorro

事業基盤増強戦略



















心豊かな社会そして地球環境の維持を 組織の命題ととらえたCSR活動の推進

持続的成長を確実にするコーポレート・ ガバナンス変革への挑戦

エンゲージメント経営の実践による インフラ型組織への変革

【SNK Vision 2030 Phase I】

デジタル変革戦略



1

ナレッジを最大限に活用するマネジメント システムの構築と運用。

2

デジタル変革の進化に追従するデジタル 化戦略の実行と情報解析技術の研鑽。



[SNK Vision 2030 Phase I]







収益力向上戦略

事業基盤増強戦略

华益力向上

グジタル変革戦略

1

事業収益力の源泉である現場収益性を 見据えた原価構成最適化の追求。

2

新工事管理システムの運用による 安全品質管理の徹底とIoT、AI技術 を駆使した設備資産管理手法の確立。

3

現場機動力の増強に資する協力会社 を含めたサプライチェーンの関係性強 化と施工遂行力の持続的成長を見据 えた現場人材確保。

【SNK Vision 2030 Phase I】

事業基盤増強戦略

Fill your tomorrow

事業基盤增強戦略

SIL



1

資本コストを意識した収益性評価による 事業ポートフォリオの実現に向けた当社 グループの成長戦略の実行。

2

新たな関係価値創造による事業領域の 拡大と新分野への事業展開。

3

社会や顧客の要請に応えるための積極 投資によるSNKブランドの差別化。

4

グローバル事業領域の将来性を見据え た事業基盤拡大。

【SNK Vision 2030 Phase I】

経営数値目標

(百万円)

科目	2019年度 実績	2022年度 目標
受注工事高	107,304	123,000
完成工事高	120,106	123,000
営業利益	6,409	6,300
経常利益	6,810	6,650
当期純利益(※)	4,603	4,500
ROE	10.6%	10%以上

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、 安定的に株主の皆様に還元するため、今後新たな利益配分に関する基本方針 として、連結配当性向30%以上または、株主資本配当率(DOE)3%を下限として 還元してまいります。

【SNK Vision 2030 Phase I 】 2020年度 業績並びに配当予想

2021年3月期の連結業績並びに配当予想につきましては、当年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。

今後の動向を見極め算定が可能となった時点で速やかに 開示いたします。

©SHIN NIPPON AIR TECHNOLOGIES CO.,LTD. all rights reserved.

免責事項

- ・ここに記載されている当社の財務状況、経営方針、計画、業績目標等の うち歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能 な情報を基にした予想値であり、これらはリスクや不確実な要因の影響を 受けます。従って、実際の業績は、これらの予想とは大きく異なる可能性 があります。
- ・各種データ・資料ついては細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

